

条幅部自由参考

2月25日正午必着

明石春浦先生書



草香沙暖水雲晴

(白居易)

百花咲く春夜のことであらう。

明石幸子書



江碧鳥愈白

山青花欲燃

(杜甫)

鳥は紺碧の水の上に浮んでその色いよいよ白く、花は青い山色に映じてひとしお紅く燃ゆるが如くである。かくて今年も空しく暮れてゆくが、自分の故郷に歸ることのできるのはいいつの年であろうか。

涼聲度竹風如雨
 碎影搖窗月在松
 竹をわたるの風、松間の月影、夏の夜の好風物である。

森戸春濤書

涼聲度竹風如雨。

碎影搖窗月在松

(文徵明)

竹をわたるの風、松間の月影、夏の夜の好風物である。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

鶯語吟脩竹(孫綽)

鶯語脩竹に吟ず

竹やぶで鶯がさえずっている。

春風卷入碧雲去
千門萬戶皆春聲(李白)

春風卷入碧雲に入りて去り
千門萬戶皆春聲

初春のめでたい大半の世のよろこびである。

送史澤之長沙(司空曙)

史沢の長沙に之くを送る
司空曙

謝朓懷西府單車觸火雲

謝朓西府を懐い
單車火雲に触る

野蕉依戍客廟竹映湘君

野蕉戍客に依り
廟竹湘君に映ず

夢渚巴山斷長沙楚路分

夢渚巴山断え
長沙楚路分る

一杯從別後風月不相聞

一杯別れて從り後
風月相聞せざらん

來て見れば雪消の川べしろがねの柳ふふめり
落の臺もさけり(齋藤茂吉)

半紙部規定課題A

2月25日正午必着

峯 獨
老 向
雙

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

2月25日正午必着

行書

獨向雙
峯老

隸書

獨向雙
峯老

明石春浦先生書

草書

獨向雙
峯老

行草書

獨向雙
峯老

ただひとり双峰に対して過す中に年老い 松木立の中の門は両側よりせまる崖をびったりと閉ざす
經典を翻訳して芭蕉の葉に書きしるし 袈裟を掛けておくところに藤の花が散りかかる
石畳を敷いて、新たに井戸を開き 林を切り拓いて毎日茶を植えておられる
時折り海の南より訪れる客に逢い 南蛮のことで誰方かなどとたずねている

贈「山中日南僧」 張籍

獨向雙峯老

松門閉兩涯

翻經上蕉葉

掛衲落藤花

磴石新開井

穿林日種茶

時逢海南客

蠻語問誰家

山中の日南の僧に贈る

張籍

独り双峰に向かつて老ゆ

松門 兩涯を閉ざす

経を翻して蕉葉に上せ

衲を掛けて藤花を落す

石を磴みて新たに井を開き

林を穿ちて日に茶を種う

時に海南の客に逢い
蠻語して 誰が家かを問う

(出典)

朝日新聞社刊
「三体詩」下より

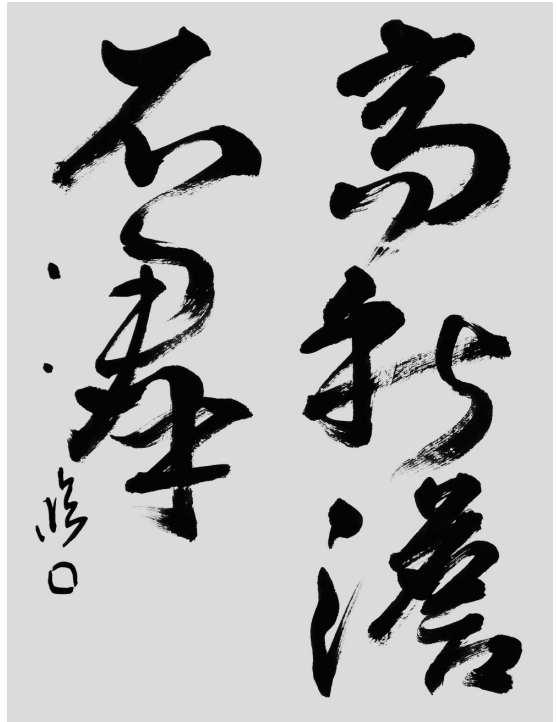
2月25日正午必着

舍舟五律

舍舟而就陸譬若解連雞野外山綿叢花
 間鳥滑稽央驢權不借陷酒入偏提汗漫亦
 殊棄誰為七聖迷元璐
 舟を捨てて陸に就くは 譬えは連雞を解くが若し野外 山は綿叢花間 鳥は滑稽 驢を央めて 不借を権り
 酒に陥りて 偏提に入る 汗漫も亦た殊棄 誰か七聖の迷いを為さん

奇石五絶

奇石驕無奈高秋澹不群
 一生幾量屐消受此山雲元璐
 奇石 驕りて奈ともする無く 高秋 澹くして群ならず 幾縞の屐を須いて 此の山雲を消受せるかを知らん

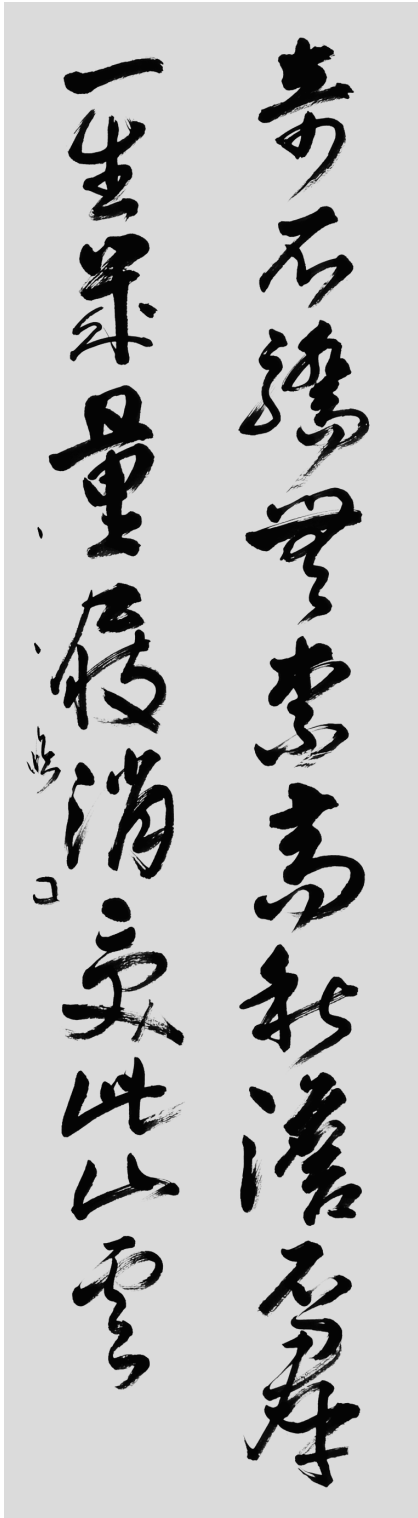


高秋 澹くして群ならず

明・倪元璐 奇石五絶

倪元璐は明末の一五九三年に生れ、わずか十七歳で舉人となったが、最終試験の会試では落第をくり返し、進士に合格したのは三十歳の時であった。その後詩文をよくしたので、だんだん出世して翰林院学士となり、戸部尚書（大蔵大臣）などをつとめた。一六四四年、反乱者の李自成によって北京城が陥落した時に国に殉じた。このように彼の人柄は忠直であったので、後世の人からも慕われ、彼の残した書画も非常に賞されている。彼の書について、康有為は「明人で行書をよくしない人はないが、その中でも倪は行書体に新味と変化をもたらした」としている。一見すると結体に張瑞図との共通点を見ることができ、品格の高さや渋味では倪の書の方が勝っているという声も多い。

この作品は、五言律詩を書いたもので、彼の作品の中でも傑作の一つとされ、筆意が変化に富み、結体・章法などに妙味がある。筆は軽快にみえるが落ち着きがあり、品格も備えている。彼は明の四大家の中に加わってはいないが、この時代の最も傑出した作家の一人にあげることができよう。（春廣）



奇石 驕りて奈ともする無く 高秋 澹くして群ならず 幾緞の履を須いて 此の山雲を消受せるかを知らん



ちょう
彫

こく
刻

中学一年

雨宮春聲先生書



りょう
良

かん
寛

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



がっ しょう
合 唱

小学五年

榎戸春龍先生書



そう だん
相 談

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

2月25日正午必着



しょう じょ
少 女

小学三年

藤田幸春先生書



つ ら ら
氷 柱

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

へ や 小学一年・幼年



森戸春濤書

白 い 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

の 花 で お お わ れ た	冬 の 野 山 は 白 い 雪
--------------------------------------	--------------------------------------

小学五年

忘 れ て は い け な い	人 間 は 感 動 す る 心 を
--------------------------------------	---

小学六年

の 水 た ま り も 氷 つ く	霜 の 降 り る 寒 い 朝 通 り
---	--

中 学

か い 室 で 茶 を た て る	氷 を 破 り 水 を く み 暖
---	---

一般(級位)

う ぐ ひ す の 鳴 く 野 べ こ と に 来 て み れ ば 移 ろ ふ 花 に 風 ぞ 吹 き け る (よ み 人 知 ら ず)	う ぐ ひ す の 鳴 く 野 べ こ と に 来 て み れ ば 移 ろ ふ 花 に 風 ぞ 吹 き け る (よ み 人 知 ら ず)
--	--

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

ゆ	ひ
き	ろ
が	い
っ	の
せ	は
ん	ら
	で

幼年

が	む
	こ
白	う
く	の
み	
え	や
る	ま

小学一年

く	大
ら	き
ま	な
ん	声
じ	で
ゆ	お
う	し

小学二年

の	氷
ち	で
よ	作
う	っ
こ	た
く	動
	物

小学三年

り	冬
の	の
平	湖
和	は
な	わ
里	た
で	り
す	ど

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

このあした霜しろくして
 おのづからいづみのおとに
 はる来るべし

松永翠舟

このあした霜しろくして
 おのづからいづみのおとに
 はる来るべし (土屋文明)

松永翠舟先生書